

第2章 教 育 財 政

第1節 平成24年度の教育費

平成24年度の教育委員会所管の教育予算は、県政の重点目標のうちの「安全で災害に強い地域づくり」、「安心できる健康・医療・福祉社会づくり」及び「教育・文化立県あいちづくり」の実現を目指し、「地震防災対策」、「少子化・児童福祉対策」、「学校教育の充実」、「生涯学習の振興」、「文化芸術の振興」及び「スポーツの振興」を重点目標に諸事業を実施した。

区 分	現計予算 A (円)	支出額 B (円)	翌年度繰越額 (円)	不用額 (円)	執行率 B/A(%)
01教育総務費	83,289,451,000	82,734,486,614	0	554,964,386	99.3
02小学校費	183,792,688,000	183,507,275,438	0	285,412,562	99.8
03中学校費	98,071,644,000	97,566,247,096	0	505,396,904	99.5
04高等学校費	94,679,606,103	92,538,623,227	1,231,951,037	909,031,839	97.7
05特別支援学校費	30,141,621,000	29,821,702,061	12,452,000	307,466,939	98.9
06生涯学習費	1,556,145,000	1,527,296,189	0	28,848,811	98.1
07保健体育費	1,583,308,000	1,556,842,694	0	26,465,306	98.3
計	493,114,463,103	489,252,473,319	1,244,403,037	2,617,586,747	99.2

第2節 平成25年度の教育費

平成25年度の予算編成に当たっては、平成24年度の減債基金の取崩額の一部を取り止め、平成25年度に再度活用するなど、2か年にわたる財源調整により、最大限の財源確保を図るとともに、なお残る収支不足を解消するため、臨時的・緊急避難的措置として、基金からの繰入運用を行うとともに、職員の給与抑制を行わざるを得ない状況にあった。

このように、厳しい財政状況下での予算編成ではあるが、産業競争力の強化や県民のくらしの安心・安全の確保、さらには、愛知の飛躍に向けた新たな取組にも意を用いることとし、加えて国の経済再生の取組に呼応した切れ目のない予算編成など、まさに今、取り組むべき緊急的な課題に、しっかりと対応して、予算編成を行った。

教育委員会所管予算についても、これらの方針に沿って事務事業の一層の見直し、各種施策の重点化、効率化を図り、予算編成を行った。

教育委員会が所管している教育費の項目別内訳としては、学校教育のための直接的経費である学校費が約4,026億円で、全体の約82.6%を占めている。このうち約95.2%にあたる約3,834億円が市町村立小・中学校及び県立学校等の教職員の人件費、その他は、県立学校の施設設備の充実や学校運営経費として予算措置した。

学校費以外の予算では、児童生徒の健全育成、教職員の研修、学校教育の多様化や指導の充実等のための経費として教育総務費約812億円、生涯学習の推進を始め、青少年の健全育成や家庭教育の充実のほか、文化財の保存・活用や芸術文化の普及等のための経費として生涯学習費約19億円、また、教職員や児童生徒の健康管理、食育の推進、県民スポーツの普及・奨励、スポーツ施設の整備等のための経費として保健体育費約15億円を予算措置した。

特に重点施策として、教職員定数については、いじめ問題への対応として「児童生徒支援対応教員の増員」や発達障害児童生徒等への対応として「通級指導教員の増員」など、国の定数改善を活

用して、教職員配置の充実を図った。県立学校の整備については、既存の県立学校校舎の耐震改修工事を平成 27 年度完了に向け計画的に実施していく「耐震改修費」約 72 億 6,208 万円を措置し、また、名古屋市千種区にある元東山工業高等学校の敷地に本県の工業教育の中核となる愛知総合工科高等学校を設置するため、建設工事を進める「愛知総合工科高等学校建設費」約 13 億 8,550 万円を、一宮東養護学校及び佐織養護学校の過大化を解消するため、稲沢市にある元平和高等学校の敷地に新たに設置する知的障害特別支援学校の建設工事を引き続き進める「いなざわ特別支援学校建設費」約 18 億 8,994 万円を措置した。

また、深刻ないじめ事案が発生した際に、専門家等からなる「いじめ対応支援チーム」を新たに設置し、市町村教育委員会を支援する「生徒指導推進協議会費」246 万円を、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するカウンセラーを、小学校への配置を 173 校から 181 校へ拡充するとともに、専門性と緊急性を要する案件への迅速な対応や学校における勤務経験の浅いスクールカウンセラーの指導を目的として、総合教育センターに配置するスーパーバイザーを 3 人から 2 人増員して 5 人体制とする「スクールカウンセラー設置事業費」約 6 億 995 万円を、学校教育の段階から児童生徒が勤労観・職業観や主体的な進路選択ができる能力・態度を身につけ、発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進する「キャリア教育推進事業費」約 3,590 万円を、11 月に本県で開催する「第 23 回全国産業教育フェア」の円滑な運営を行っていく「第 23 回全国産業教育フェア愛知大会開催費負担金」1,200 万円を、小中学校、高等学校等に在籍する発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育的支援の在り方を検討するとともに、市町村を主体とした特別支援教育に係る体制整備を進めていく「特別支援教育体制推進事業費」約 400 万円を、特別支援教育の様々な課題を総合的にとらえ、中長期的な視点に立った特別支援学校の整備の方向性など、今後の特別支援教育の指針となる「愛知県特別支援教育推進計画」を策定する「特別支援教育指導推進費」約 138 万円を、平成 26 年に本県で開催される「持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向け、ESD の推進拠点と位置付けられるユネスコスクールへの加盟を促進するため、加盟校が行う活動に対して支援を行う「ユネスコスクール支援事業費」1,475 万円を措置した。

さらに新規事業として、高校生を高いレベルで英語を使いこなすとともに、世界を舞台に挑戦し、活躍できる人材として育成するため、拠点となる高校を指定し、先進的な英語教育の手法を検討などする「あいちグローバル人材育成事業費」約 2,617 万円を、瀬戸市が整備を進めている肢体不自由養護学校に対し、整備費の一部を助成する「瀬戸市立瀬戸養護学校施設整備費補助金」2 億 3,300 万円を措置した。

また、24 年度に策定した「生涯学習推進計画」について、関係機関・団体等に対して周知・啓発を図っていく「生涯学習審議会費」約 147 万円を、地域の家庭教育を担う人材を活用して、子育てやしつけに関する悩みや不安を持つ親に対して、『「あいちっこ「親の育ち」応援事業』などを実施し、家庭の教育力の向上を図る「あいちっこ子育て支援事業費」約 452 万円を、愛知県と名古屋市が連携して、奥三河に伝わる国指定重要無形民俗文化財の「花祭」や「三河の田楽」について、広く県民に紹介するため名古屋市博物館において特別展を開催する「名古屋市博物館特別展開催費負担金」400 万円を、8 月に東海 4 県の東海ブロックで開催する全国中学校体育大会の円滑な開催運営を図る「学校体育大会負担金」2,574 万円を措置した。

教育委員会の主な新規事業及び廃止事業は、別表に示したとおりであるが、限られた財源を可能な限り、重点的かつ効率的に配分することを基本に、愛知の教育水準の維持・向上のため、所要の施策を講じたところである。

1 平成 25 年度教育費当初予算

区 分	当 初 予 算			左 の う ち			
				人 件 費		一 般 財 源	
	金 額 (千 円)	伸 び 率 (%)	構 成 比 (%)	金 額 (千 円)	率 (%)	金 額 (千 円)	率 (%)
01 教育総務費	81,164,272	2.7	14.5	78,301,106	96.5	79,401,310	97.8
02 小学校費	180,502,078	2.5	32.4	179,920,554	99.7	132,259,117	73.3
03 中学校費	98,236,938	0.8	17.6	97,704,678	99.5	70,570,798	71.8
04 高等学校費	92,345,300	2.3	16.6	78,582,250	85.1	71,121,910	77.0
05 特別支援学校費	31,498,781	5.2	5.7	27,181,949	86.3	24,785,964	78.7
06 生涯学習費	1,913,631	9.0	0.3	389,916	20.4	724,388	37.9
07 保健体育費	1,533,895	3.6	0.3	226,761	14.8	1,276,789	83.2
小 計 (教育委員会所管分)	487,194,895	1.6	87.4	462,307,214	94.9	380,140,276	78.0
08 大学費	4,962,865	34.1	0.9	821	0.0	4,962,865	100.0
09 私立学校費	65,265,944	0.4	11.7	1,409	0.0	48,243,032	73.9
11 教育費計	557,423,704	1.8	100.0	462,309,444	82.9	433,346,173	77.7
県一般会計	2,228,433,000	1.2	-	682,232,152	30.6	1,217,929,001	54.7
県一般会計のうち 教育費の占める割合	25.0%			67.8%		35.6%	
内 訳	教育委員会	21.9%		67.8%		31.2%	
	その他教育費	3.1%		0.0%		4.4%	

2 平成 25 年度主な新規事業、廃止事業

(1)新規事業（4事業）

事業名		予算額 (千円)	内 容
1	瀬戸市立瀬戸養護学校施設整備費補助金	233,000	瀬戸市が建設する肢体不自由養護学校工事費の一部を瀬戸市に対して補助する。
2	あいちグローバル人材育成事業費	26,165	高校生の英語力強化のため、先進的な英語教育の手法の研究、全て英語により外国人と共同生活を送るキャンプ、生徒が企画した海外でのチャレンジへの助成などを行う。
3	(高等学校)環境整備費	35,621	25年度に接続が必要となる学校の公共下水道を整備する。
4	名古屋市博物館特別展開催費負担金	4,000	愛知県の代表的な民俗芸能である「花祭」を愛知県と名古屋市が共同で名古屋市博物館で紹介するための負担金を措置する。

(2)廃止事業（6事業）

事業名		予算額 (千円)	廃止の理由
1	公立中学校部活動指導費補助金	1,645	市町村の補助事業であるが、少額補助であり、市町村によっては独自の予算措置を行っているため、事業効果を検討した結果、廃止することとした。
2	県立学校部活動指導費	2,091	年度早々に予算の殆どが執行済みとなる事業であり、事業の実効性を検討した結果、廃止することとした。
3	(特別支援学校)耐震改修費	71,049	事業の対象施設がないため。
4	地域子ども文化活動育成事業費	660	事業費が少額となり、国の事業による派遣事業でも対応が可能であることから廃止とする。
5	名古屋市博物館展示物製作費補助金	7,600	単年度補助事業であるため。
6	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知開催費負担金	50,000	地域振興部に移管するため。